

校長あいさつ



東日本大震災（田人町を震源とする直下型余震：4.11）により、田人中学校は体育館及びプールを失うなど、大きな被害がでました。また、いわき市の南西部に位置する田人地区では、震災の影響や児童生徒の減少、過疎化などの課題もあり、平成26年度に分校を含め9校ある小・中学校が再編され、田人地区全体の小・中学校として「田人小学校・田人中学校」が位置づけられました。そして、田人小・中が抱えるさまざまな課題解決のために、「小中一貫教育推進校」として、平成27年度からは、小学生・中学生が施設一体型の小・中学校として、同じ校舎で学んでいます。

平成28年度からは、いわき市では初めての「コミュニティ・スクール」の指定を受け、学校運営協議会が設置されました。地域の教育力を生かし、いわき市教育委員会、公民館等関係機関の支援を受けながら、「地域とともにある学校」を目指し8年目を迎えました。コミュニティ・スクールの目的を「ふるさと田人の活性化」と「ふるさと田人を支える人材育成」として、子どもたちには、「田人への思いを深め」「田人の未来を創造し」「周囲と協働して目標に向かって挑戦できる」力を身に付けさせるため、地域内外と連携しながら各種事業を展開しております。



田人小・中学校の歴史は、学制が発布された明治5年に、明義学校として開設された時まで遡ります。令和3年度には、田人小創立150周年・田人中75周年記念式典・記念祭を行いました。これまでの伝統を守りながらも常に挑戦し続け、新たな歴史を刻んでいきます。



予測不能な社会を生きていく子ども達に必要な力を身に付けさせるため、キャリア教育の視点から各教育活動を展開しながら、地域とともに、困難に負けない、地域に貢献できるたくましい児童生徒を育てて参ります。

令和5年度は、31名の小学生と23名の中学生、教職員全員で、地域・保護者の皆様と心を一つに「田人の心を心とする教育、地域とともにある学校」を教育の基本理念とし、田人地区の活力を牽引する学校にしたいと考えております。

いわき市立田人小・中学校長 高萩 雅人

